

認知症支え ^{あい}♥ ネットワーク

地域で徘徊する 認知症高齢者に対しての 声かけ訓練のご提案

平成29年 7月 3日



高齢者生きがい課
江南市社会福祉協議会
地域包括支援センター

声かけ訓練の目的

- 住民が気になる高齢者を見かけた際に声かけが行える
- 地域全体が認知症徘徊者への気づきの目をもつことができる

過去の訓練のご紹介①



訓練の前に認知症の理解と対応を学ぶ
「認知症サポーター養成講座」を開催

過去の訓練のご紹介②



あらかじめ、経路を決めておき、
徘徊者役の方が名札をつけて歩きました

過去の訓練のご紹介③



徘徊者役・先導役・声かけサポート役・アンケート役など、数名で移動しました

過去の訓練のご紹介④



訓練経路上にあるお店に入り、店員さんも声かけに参加しました

過去のミニ訓練のご紹介①

今年3月には、江南市民文化会館で行われた
ふくしふれあいまつりで「認知症徘徊者搜索
訓練ふくしまつりバージョン」と称し、
会場内で訓練を実施しました

家族の心配をよそに、
笑顔で徘徊する五郎じいさん



過去のミニ訓練のご紹介②(配布物)

<声かけのポイント>

- ① びっくりしないように、^{えがお}笑顔でゆっくりと^{めあわせて}目を合わせて話しかけよう
- ② ^{なまえ}名前を^{きいて}聞いてみよう
- ③ 「のどかわいていないですか？」とか「どこか^{いたい}痛いところはないですか？」など、からだの^{ちょうし}調子を^{きいて}聞いてみよう
- ④ ^{かぞく}家族が^{しんぱい}心配してさがしていることを^{つたえよう}伝えよう
- ⑤ ^{むかえ}迎えに^{きて}来てもらうよう^{れんらく}連絡をとるので、その^ば場で^{やすんで}休んでいてもらうよう、^{つたえて}伝えてみよう

過去のミニ訓練のご紹介③



小さい子どもが真剣に心配して、親と一緒に五郎じいさんを捜してくれました。このようなことが、身近な日常になっていくといいですね・・・

江南市認知症支え^{あい}♡ネットワーク スローガン 大丈夫、みんなで支える認知症

次はみなさんが訓練の企画をしませんか？
自分たちが住む地域で訓練を行うと、ご近所の方の認知症に関する理解が進みます。近所の方の見守りや助けがあれば、認知症になった方も、ご家族も、住み慣れた地域で暮らし続けることができますと私たちは考えます！

明日は
我が身、
だなも！

